

まごころだより

2022年 1月号

12月になると今年の年明けに大雪に見舞われた記憶がよみがえってきます。数日前から大雪情報がでていましたが、これほど積もるとは思っていなくて、交通面で大混乱した日が数日続いたことを思い出します。施設前の雪かきに時間がかかり、利用者の受入れが心配でしたが何とか間に合いました。北陸では毎冬当たり前の雪ですが、やはりこの時期になるとちょっとゆううつ憂鬱になります。



“お茶会”

先月に続き近所の方を招いてお茶会を開きました。コロナでお出で頂けるかと最初は心配でしたが、今回も参加して頂き本当に嬉しく思いました。やはり直にお会いしてお喋りするのが皆さんも楽しそうで、この機会をもう設けて良かったと思います。

“子供と利用者さん”



子供達もすっかり利用者の方に慣れて、今ではスキンシップも見られます。その時の利用者はいつもと違うとても優しい表情をされます。言葉を多く交わさなくてもコミュニケーションはちゃんと取れているのが分かります。子供には不思議な力が備わっているのだと改めて感じます。



子供には不思議な力が備わっているのだと改めて感じます。

“誕生祝い”

月替わりでの誕生祝い。歳を重ねて80過ぎてもお祝いしてもらえるのは嬉しいものです。思いもせずお祝いしてもらえるのがサプライズで、嬉しいのが表情で気持ちを伝えてくれます。

“カルタ遊び”

子供のころによく遊んだカルタ。こんな子供だましみたいなものでも進めていくと、結構真剣になってきているのが分かります。これもまた刺激になっていいのではないのでしょうか。



この後に“ババ抜き”をしましたが、誰かが“ババ抜き？”と言ってその場を盛り上げていました。緊張と緩和、そして笑い、いろんな事があって楽しいのだと思います。



さあ来年はどんな年になるのでしょうか。2年前からのコロナ騒ぎで窮屈な思いをしてきました。ここのところ少しは収まりかけてきたようですが、また新たなタイプのコロナの広がりも懸念されています。拡大させないように個々が心して防止に取り組んで行かなければいけません。皆様も油断の無いように心がけましょう。